

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 四万十市立東中筋中学校		校長	溝渕 忠	教員数	12	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計						
		道徳教育推進教師	三石 裕子	12	児童生徒数		17	学級数	1	児童生徒数	11	学級数	2	児童生徒数	12	学級数	1	児童生徒数		児童生徒数		児童生徒数	40	学級数	4
研究テーマ		よりよく生きる力を育む道徳教育 ～ともに考え議論し合う道徳科を要として～																							
年度当初の学校の状況(5月調査を記載)		到達目標				中間検証(下半期に向けての改善事項)						年度末(2月)		到達目標達成状況											
道徳性に関する現状		肯定%		道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上												現状		肯定%							
①道徳の勉強は、好きだ		89.7		①道徳の勉強は、好きだ。 90%以上												①									
②道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている		94.9		②「道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている」 95%以上												②									
③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む高知の道徳」を読んだりしている		48.7		③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む高知の道徳」を読んだりしている。 60%以上												③									
④自分には、よいところがあると思う		76.9		④「自分には、よいところがあると思う」 85%以上												④									
⑤将来の夢や目標をもっている		79.5		⑤将来の夢や目標をもっている。 85%以上												⑤									
⑥人が困っているときは、進んで助けている		94.9		⑥人が困っているときは、進んで助けている。95%以上												⑥									
⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある		79.5		⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。 85%以上												⑦									
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)												指標達成状況の分析											
取組項目		取組の評価指標				5月～8月				中間評価		9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)				達成状況				年度末評価					
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実		◆道徳教育推進委員会を定期的(月1回程度)に実施し、進捗管理を行う。 ◆年間指導計画に基づく取組の検証を行う。年3回(推進委員会) ◆道徳教育推進教師(または管理職)が毎週、全学級の道徳科の授業を参観する。				①道徳教育推進委員会の開催(月1回程度)と推進教師(または管理職)が全学級の道徳科の授業を参観できる体制づくり。 ②学年部と推進教師による事前研究の時間の確保。 ③道徳教育の全体計画(別業)、各学年の道徳科の年間指導計画の作成(5月)と見直し・追記(8月)。(推進教師・学年部) ④道徳意識調査の結果分析と改善策の検討。(5月)(推進委員会)						①道徳教育推進委員会での進捗管理と推進教師(または管理職)による全学級の授業の参観、指導、評価、研究のまとめ。 ②学年部による事前研、事後研を生かした授業の質の向上。 ③全体計画(別業)、年間指導計画の見直し・追記(12月)と年間の検証(2月完成)。 ④道徳意識調査及び授業チェックの検証を踏まえた改善策のとりまとめ。													
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究		◆道徳授業チェックシート(教師用)の「発問」「応答」の項目の平均を年度当初より0.2p以上上昇させる。 ◆小中合同授業研を行う。年2回				①全校授業研究の実施(6月、7月)。 ②講話による授業及び評価に関する研修(6月、7月)。 ③道徳授業チェックシートの結果分析と改善策の検討(8月)。(推進委員会) ④学年部と推進教師による事前研究、授業参観、事後研究の実施。(全時間) ⑤小中合同授業研の実施(6月 小学校公開授業)						①全校授業研究の実施(12月)。 ②講話による授業及び評価に関する研修(12月)。 ③道徳授業チェックシートの結果分析と改善策の検討(1月)。 ④学年部と推進教師による事前研究、授業参観、事後研究の実施。(全時間) ⑤小・中学校道徳教育研究協議会〔西部地区〕での公開授業及び研究協議(10月) ⑥小中合同授業研の実施(12月 中学校公開授業)													
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究		◆毎時間の事後研において、生徒の個人評価を記録する。(学年部) ◆道徳科の通知表の発行(年3回) ◆教員向け道徳通信で、評価について情報提供をする。(推進教師)				①生徒のワークシートや教師の評価メモをもとにした評価の実施。(学年部) ②講話による授業及び評価に関する研修(6月、7月)。 ③道徳科の通知表記入文の交流や協議及び通知表の発行(7月) ④道徳通信による評価に関する情報提供。(月1回程度)(推進教師)						①生徒のワークシートや教師の評価メモをもとにした評価の実施。 ②講話による授業及び評価に関する研修(12月)。 ③道徳科の通知表の発行(12月、3月) ④道徳通信による評価に関する情報提供。(月1回程度)													
家庭・地域と連携した道徳教育の推進		◆全学年公開による道徳参観日を実施する。年2回 ◆学級通信、道徳通信で道徳教育に関する情報発信を行う。(年5回以上)				①道徳参観日の実施。(授業参観、懇談・5月) ②学級通信、道徳通信等で、道徳の授業の様子や「高知の道徳」の内容を紹介し、道徳教育に関する啓発を行う。(担任、推進教師)						①道徳参観日の実施(保護者参加の道徳授業・11月) ②学級通信、道徳通信等で、道徳の授業の様子や「高知の道徳」の内容を紹介し、道徳教育に関する啓発を行う。													

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)